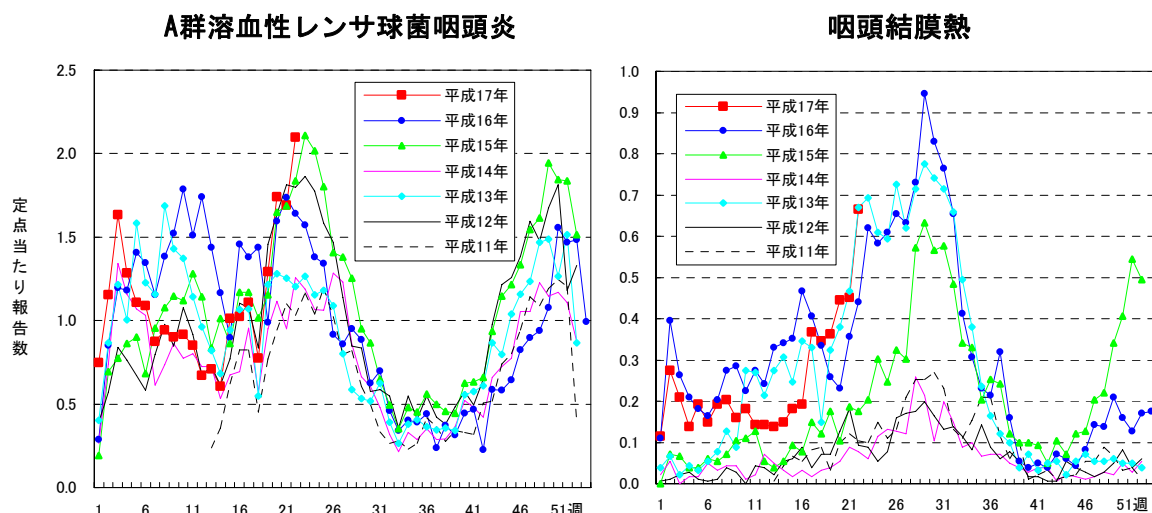


◆ **トピックス** 予防接種 ⑥B 型・A 型肝炎

流行状況



疾患名	定ポイント報告数		備考
	前週	今週	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.7	2.1	レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症
咽頭結膜熱	0.45	0.66	発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症

◆ 愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

トピックス

予防接種

⑥ B 型・A 型肝炎

現在ウイルス肝炎でワクチンが実用化されているのはA型、B型肝炎ワクチンの2種だけです。感染経路はB型肝炎は血液、精液など体液感染、A型肝炎は経口感染が主体です。B型肝炎については、現在我が国では全妊婦に対して妊娠期間中にHB（B型肝炎）抗原検査を実施し、陽性妊婦にはB型肝炎の母児感染防止のため、児に対し出生直後できるだけ早く（遅くとも48時間以内）と生後2か月後の2回HB免疫グロブリンを接種します（ただしHBe抗原陰性妊婦から生まれた児の場合は2回目は省略することができます）。HBワクチンは通常生後3回接種しますが、必要に応じて追加接種します。WHO（世界保健機関）はHBワクチンをEPIワクチン*に準ずるワクチンとし

て重要視しています。そのためHBワクチンを母親のHB抗原の有無にかかわらず、全新生児に接種している国も多くあります。大人でも海外赴任者は医療従事者とともにハイリスク者にはいますので、特に東南アジア、アフリカへの赴任者はワクチン接種が勧められます。

A型肝炎については、以前は日本も衛生環境が悪かったので感染の機会は多く、子供の頃に感染した（症状は出ないか出てごく軽症）可能性が高い55歳以上の人では抗体保有率はかなり高いのですが、それより若い人では衛生環境の改善とともに抗体保有率も急速に低下しており、今後の集団発生も危惧されています。一方、A型肝炎を小児予防接種スケジュールに加えている国は少数にとどまっています。欧米諸国でのA型肝炎ワクチンは非常に優れており、基礎免疫が終了すればほとんど100%抗体保有が期待され、抗体保有持続期間も長く、十数年たっても1回の追加免疫で十分な免疫が獲得できるといわれています。現在日本では通常16歳以上が接種対象で、小児は除外されています。一般には小児がA型肝炎に感染しても大人の場合と違って風邪のような軽い症状だけで終わることが多いのですが、最近一部で小児でも重症化する例がみられ、小児科医の間では諸外国のように接種開始を2歳に引き下げるべきとの意見もあります。A型肝炎汚染地域に小さいお子さんを連れていかれる場合は一度主治医とご相談してみてください。もちろんご両親も抗体検査陰性の場合はワクチン接種をしておいてください。欧米ではA+B混合ワクチンもよく使用されています。

* EPI ワクチン (EPI: Expanded Program on Immunization)
WHO (世界保健機関) が中心となって決定している、世界規模で小児に対して優先的に接種するワクチン6種のこと

- ◆ 予防接種ガイドライン (<http://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/guideline/1.html>)
- ◆ 予防接種について (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yobou_week.html)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

- 溶連菌感染症多いです。
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 病原性大腸菌O8 4歳男
病原性大腸菌O18 0歳女
病原性大腸菌O25 6歳女
病原性大腸菌O86a 0歳女
病原性大腸菌O126 3歳女、5歳女
アデノウイルス感染症は7例以上
溶連菌感染症は3例以上
マイコプラズマ肺炎 10例
エンテロウイルス感染症も非常に多いです。注意点として i) エンテロウイルスによる出血性結膜炎及び腎炎様症状 ii) アデノウイルスによる出血性膀胱炎、肺炎、結膜炎が見られました。
【一宮市 城後小児科】
- 成人でインフルエンザA型1名あり。
【一宮市 平谷小児科】
- 流行性角結膜炎(アデノウイルス結膜炎)が幼稚園、プールなどに関連して感染が拡がりつつあるように思います。
【一宮市 ふなはし眼科】
- 手足口病の湿疹が例年に比し大きく、大腿部あたりまで出現する傾向があります。
【犬山市 武内医院】
- 溶連菌感染症、水痘、ヘルパンギーナが目立ちます。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 溶連菌感染症、水痘、流行性耳下腺炎 流行続いています。
ヘルパンギーナが増加してきました。
アデノウイルス感染症3名ありました。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 3歳女 マイコプラズマ感染症
【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

- アデノウイルス感染症、溶連菌感染症が多くみられます。
咽頭結膜熱で4月、6月と2回かかった児あります(3歳男)。
病原大腸菌O55 4歳男
マイコプラズマ感染もみられます。
【瀬戸市 津田こどもクリニック】
- ヘルパンギーナが少し増加してきました。
溶連菌感染症、アデノウイルス感染症が引き続きみられます(咽頭結膜熱1例 4歳女)。
その他感染症胃腸炎 1歳男 O25
流行性耳下腺炎等
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児医院】
- アデノウイルス感染症続いています。
【春日井市 春日井市民病院】
- 溶連菌感染症増加
水痘、ムンプス続発中
アデノウイルス感染症増加
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 咽頭結膜熱が流行していますが、マイコプラズマ気管支炎も4名ありました(11か月女、3歳女、23歳女など)。
【春日井市 かがわ北病院】
- ノロウイルスと思われる感冒性胃腸炎が増加傾向。
アデノ感染症、ムンプス、溶連菌感染症相変わらず。
インフルエンザは(-)
【小牧市 小牧市民病院】
- 嘔吐症が目立ちます。ノロウイルスでしょうか。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 水痘が多いようです。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

西三河地区

- 5歳男3名、6歳女 イムノカードST Str epA (+)
3歳女 イムノカードST アデノ(+)
1歳女、5歳女 病原性大腸菌O1
6歳男 病原性大腸菌O6
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルエンザA型 1名
【豊田市 田中小児科医院】
- 7歳女 カンピロバクター
3歳女 病原性大腸菌O18、カンピロバクター
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- 4歳女 病原性大腸菌O119、カンピロバクター
9歳男 アデノ
【岡崎市 にいのみ小児科】
- 8歳男 サルモネラO8
1歳男、2歳男 病原性大腸菌O1
2歳女 病原性大腸菌O125
10歳男 病原性大腸菌O1、カンピロバクター
1歳女 アデノウイルス腸炎
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- ムンプスが目立ちます
【碧南市 永井小児クリニック】
- 10歳男 インフルエンザA
【刈谷市 まついこどもクリニック】
- 1歳 感染性胃腸炎 ブ菌陽性2名
7歳 感染性胃腸炎 サルモネラ陽性1名
【知立市 宮谷クリニック】
- 3歳女 マイコプラズマ肺炎
ムンプス、水痘が流行しています
【三好町 三好町民病院】
- カンピロバクター腸炎 1歳男
病原性大腸菌O1 VT (-) 8か月男
【西尾市 山岸クリニック】
- 1歳女、2歳男2名 アデノウイルス感染症
手足口病の流行が続いています。
10歳男 A型インフルエンザ(母より感染)
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

- ヘルパンギーナとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増えてきています。
アデノウイルス感染症も時々います。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- 5歳男 マイコプラズマ肺炎
【豊橋市 野村小児科】
- ムンプス流行中
【田原市 かわせ小児科】
- 病原大腸菌O18 9歳男
【豊川市 ささき小児科】

一～三類感染症の発生状況 — 愛知県(名古屋市を除く。) —

- 細菌性赤痢
 <関連リンク> 二類感染症
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#2-3>

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	西尾	27	女	5/28	5/30	6/1	推定感染地域 国内

- 腸管出血性大腸菌感染症
 <関連リンク> 三類感染症ってなあに？
http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/3rui_1.html

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	豊田市	1	男	5/16	5/23	5/28	O26 VT1 (+) VT2 (-)

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況 — 愛知県(名古屋市を除く。) —

- 梅毒1例 (無症候、推定感染地域：不明、推定感染経路：不明)
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-11>

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

紫陽花が咲きはじめました。庭の角に毎年開く古典的な淡い色の花ではなくてパステルカラーの華やかな品種が流行しているようであちこちで目につきます。いつも貴重な情報を有難うございます。5 月後半のまとめをお送りします。

1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からは稀とはなったが A 型インフルエンザの発生がまだあり、ロタウイルス感染症も少なくなったが散発的にみられ、ヘルパンギーナが急増中で咽頭結膜熱も多い状況で、ヘルパンギーナを含む急性咽頭炎の入院が目立ち、水痘とムンプスは例年通り、マイコプラズマ肺炎はほぼ一定数の入院あり、城北病院渡辺先生からはインフルエンザはほとんど消失し、急性胃腸炎散発（嘔吐が主体で下痢は少ない例が多い）、マイコプラズマ肺炎やや増加（入院が多い）、アデノウイルス感染症は相変わらずぼつぼつあり、ムンプスの散発が続き喘息発作の入院が多く川崎病もやや多い傾向あり、第二日赤岩佐先生からは入院を要するアデノウイルス感染症あり、千種区今枝先生からは感染性胃腸炎ぼつぼつ、夏かぜが稀にあり、三菱病院入山先生からは溶連菌感染症 12 名（4 名入院）とかなり目立ち感染性胃腸炎 4 名（病原性大腸菌 O-1、O-18、O-25、2 名入院）、水痘 2 名、マイコを含む肺炎の入院 6~7 名あり、中京病院柴田先生からは溶連菌感染症増加とのお手紙でした。

2) 尾張地区：犬山市武内先生からは A 群溶連菌咽頭炎、及び感染性胃腸炎がやや目立ち水痘、手足口病、ムンプスが各々散発中、江南市昭和病院小児科からは A 群溶連菌感染症とムンプス（ムンプス髄膜炎の入院目立つ）、川崎病の入院が目立ちアデノウイルス感染症は減少、常滑市民病院上田先生からはサルモネラなどの感染性腸炎（入院目立つ）と水痘、ムンプス、咽頭結膜熱（入院が目立つ）、溶連菌感染症が目立つとのお手紙でした。

3) 三河地区：トヨタ記念病院木戸先生からは溶連菌感染症がちょこちょこ、ロタウイルス感染症がまだいる、詳細不明であるが近くの中学校でインフルエンザ流行、入院患者は減ったがアレルギー性紫斑病があり、刈谷市田和先生からは嘔吐下痢症（嘔吐のみのもや下痢、発熱を伴うものがやや目立つ）、水痘時々、川崎病 1 例、その他かぜ症状で熱が長引くものが多くみられる、碧南市永井先生からは嘔吐下痢症がやや目立ち、ムンプスと水痘も目立つ、豊橋市からはヘルパンギーナ、水痘、ムンプスが少数で目立った感染症はないとのお手紙でした（市内長屋先生、宮澤先生）。有難うございました。

2005 年 5 月 13 日（80 巻 19 号） <http://www.who.int/wer/2005/wer8019/en/>

☆ メジナ虫根絶。2004 年。世界のサーベイランスのまとめ：Dracunculiasis。メジナ虫、別名ギネア虫（注：経口感染寄生虫。水系感染。中間宿主はミジンコ。卵を補食して幼虫をもったミジンコのいる生水を飲んで感染。ヒト体内全身を移行した幼虫は下肢皮下で成熟、雌虫の尾部が皮膚を破って産卵。皮膚炎、潰瘍、疼痛、運動障害で農作業や通学困難となり、基幹産業である農業衰退、欠席児童多発から問題となる。農繁期に多発、不潔な水源を共同利用している貧しい農村に集中。対策は住民教育と安全な水供給。下記のように徹底することで減少中）。世界規模で進められている根絶プログラムにより劇的な改善が進捗した。世界全体で 04 年には前年の報告数の 50%減を示し、以前は熱帯地区広範に分布していたが感染が確認されているのはアフリカ地域の 11 カ国だけとなった。（多い順にガーナ、スーダン、ナイジェリア、マリ、トーゴ、ニジェール、ブルキナファソ、象牙海岸、エチオピア、ベニン、モーリタニア。表あり）①全世界で報告数は 16,026 名。目立つのはガーナ 7,275 名とスーダン 7,266 名（この両国で全世界の 91%）。マリ 357 名、ニジェール 240 名、ナイジェリア 495 名、トーゴ 278 名（この 4 カ国で世界の 9%）、他のベニン、ブルキナファソ、象牙海岸、エチオピア、モーリタニアの 5 カ国で 104 名（世界の 1%）となっている。②世界全体では上記のように 03 年/04 年比で 50%減、スーダンが 64%減、ガーナ 12%減、他 9 カ国で 60%減で、目立つのはウガンダ 100%減、ベニン 88%、ブルキナファソ 80%減、ナイジェリア 66%減などである（グラフあり）。③報告数が増加した国はない。④04 年に 1 例以上の症例を報告した村の数は 3,625 村（3,109 は常在、516 は移入例だけ）、1 例だけの村は 1,512 村、03 年に 1 例以上あり 04 年ゼロとなった村は 2,727 村、04 年に新規に 1 以上となったのは 1,877 村であった。⑤移入例は 03 年 143 名、04 年 114 例と減少、主としてスーダンの減少によると思われる。新規に 1 例だけ報告されている村は移入例だけの場合が多い。⑥各国の詳細なまとめ（県単位の地図あり）。ここでは代表的な多発国のガーナとスーダンの概略を紹介：ガーナでは県による差が大きく（報告数 100 名以上～ゼロ）、全例の 98%が東部のボルタ河中流域と北部に集中。感染は 10 月～翌 7 月（乾期）、男性が著明に多く 10～19 歳に多発。スーダンにおける封じ込め作戦は政府支配地域の方が紛争地域（緊急援助地域）よりも良好で多発地区は南部に多く、紛争による封じ込め作戦の遅れが大きい。

☆ 5 月 6～12 日届出。コレラ：セネガル、モザンビーク。

2005 年 5 月 20 日（80 巻 20 号） <http://www.who.int/wer/2005/wer8020/en/>

☆ 鳥インフルエンザ。カンボジアの最新情報：05 年 5 月 5 日保健省発表。20 歳女性。ベトナムの病院で 4 月 19 日死亡。カンボジアにおける第 4 例。2 月報告の第 1 例と同じ村に居住。学生。ベトナム・ホーチミン市パスツール研究所で確定。保健省担当者が調査と教育を実施中。

☆ コレラ。セネガルの最新情報：保健省発表。05 年 5 月 2～8 日の間に 509 例（死亡 6）。減少中。局所的発生。当局は健康情報の普及と安全な水供給を確保中。

- ☆ エボラ出血熱。コンゴ：05年5月17日時点で11例（死亡9。1例はガボンの研究所で確定、10例は臨床診断）。患者接触者81名について監視中。保健省、WHOアフリカ事務所、国境なき医師団がサーベイランスと啓蒙活動展開中。
- ☆ マールブルグ出血熱。アンゴラの最新情報：保健省発表。05年5月17日時点で337例（死亡311）。大多数がウイジェ州に集中（326例、死亡300）、この5週間に同州以外での発生ゼロ。集団発生抑制のための基本的資材や医療手順指示は適切になり正確に運用されるようになった。ウイジェ州立病院の隔離病室が対応し、院内感染対策は改善、従来肉親が直接遺体に接触していた葬儀の方法も改められた。自宅治療は禁止され大量のディスポ器材が導入、注射器による感染拡大対策がとられた。宗教指導者、地域リーダー、地域赤十字スタッフによる協力が知識普及、移動車によるサーベイランス活動を支援している。遺体との直接接触以外は感染リスクが少ないことから、WHOは同国への旅行制限は必要ないと勧告している。
- ☆ 髄膜炎菌感染症。インド：デリー市。05年5月16日時点で303例（死亡26）。患者の多くは（死亡例は全例）若年層（16～30歳）で国立感染研における検査では18例の髄液検査でA型髄膜炎菌陽性。患者の殆どが旧市街地のオールドデリー居住。インド厚生福祉省は市当局やWHOなど関係機関と専門家チームを作り対策開始。サーベイランスと早期発見早期治療、患者などとの濃厚接触者など集団発生地区居住者ハイリスク集団に対して抗生剤予防内服とワクチン接種を実施中。
- ☆ 髄膜炎菌髄膜炎。WHO東南アジア地域の流行短報：インド・デリーでは髄膜炎菌髄膜炎が風土病的に定着、1985年の流行では6,133例（死亡799、罹患死亡率13%）、男女比は3：1、分離株はA型。他にハリアナ、ウタルプラデシュ、ラジャスターン、シッキム、グジャラード、ジャムカシミール、西ベンガル、ケララ、オリッサ各州で広域流行。1985年9月～86年3月にはブータンでも流行、247例（死亡41）、82年～84年にはネパール・カトマンズ溪谷で1,475例の報告あり、1歳以下の小児が罹患と死亡の中心となっていた。
- ☆ 5月13日～19日届出。コレラ：カメルーン、インド。

愛知県感染症情報

2005年第1週～第22週(平成17年1月3日～平成17年6月5日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	117	80,199	982	4,410	22,911	6,801	715	473	2,357	24	13	918	14	4,144	11	497	4	3	129	0	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	99	63,737	744	3,079	16,364	5,413	607	377	1,806	20	3	712	9	3,209	6	395	4	3	129	0	0
名古屋市	70	70	11	14	1	18	16,462	238	1,331	6,547	1,388	108	96	551	4	10	206	5	935	5	102					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	14	4,167	228	340	811	285	7	26	116	1	2	19	2	115		14			39		
海部津島	津島	7	7	2	2		3,211	2	91	1,249	204	12	28	64			43		340		10			4		
尾張中部	師勝	4	4	1	1		2,064		77	511	159	1	18	37			39		37		16					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	4,489	55	208	1,279	305	157	14	147	2		83		245	1	29	1				
尾張北部	春日井	9	9	2	3	17	7,534	162	236	1,082	421	14	21	188	3	1	56	1	157		27					
	江南	6	6	1	2	3	2,731	69	348	1,266	441	51	22	177			97	1	324		21					
知多半島	半田	6	6	1	2	5	2,950	52	123	724	267	76	27	81	1		9	1	170		5			1		
	知多	7	7	2	2	7	3,766	45	355	876	235	8	22	146			6	1	253		19					
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	5	6,131	12	232	426	408	65	14	229	3		40		387	1	20					
	衣浦東部	13	13	2	4	6	9,012	24	236	1,318	772	37	96	179			15	1	372		98			9		
	西尾	5	5	1	2	12	1,892	8	138	560	297	73	22	72			29		92		18					
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	8	4,651	17	307	3,538	498	22	24	161	9		19		294		57	2	3	53		
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	6,864	55	255	1,551	379	41	18	129			174		80	2	45	1		20		
	豊川	9	8	1	2	20	3,613	15	131	1,143	715	40	25	78	1		83	2	337	2	16			3		
東三河北部	新城	2	2				662		2	30	27	3		2					6							

愛知県感染症情報

2005年第1週～第22週(平成17年1月3日～平成17年6月5日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	R S ウ ィ ル ス 感 染 症	イ ン フ ル エ ン ザ (高 病 原 性 鳥 を 除 く。)	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	風 し ん	ヘル パン ギー ナ	麻 し ん (成 人 麻 し ん を 除 く。)	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜炎	無 菌 性 髄 膜炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (オ ウ ム 病 を 除 く。)	成 人 麻 し ん
計	99	63,737	744	3,079	16,364	5,413	607	377	1,806	20	3	712	9	3,209	6	395	4	3	129	0	0
～6ヶ月	50	319	8	8	233	134	9	1	114	6		7		3		1					
～12ヶ月	21	958	37	20	1,070	350	41	19	1,021	2		55	1	17		3					
0歳																	2		4		
1歳	15	3,279	147	95	2,550	919	141	27	621	2	1	196	1	134		10			16		
2歳	10	3,674	101	163	1,723	905	109	20	43	1		130	1	303	1	17			20		
3歳		4,334	156	322	1,475	1,099	101	36	6	2		115	1	478	1	20	1		18		
4歳	1	5,535	131	558	1,352	912	89	50		1		91	1	650		13			11		
5歳	1	5,472	65	655	1,142	538	51	50				50	2	570		12					
6歳	1	5,343	41	418	832	240	24	52		1		29	1	413	1	3					
7歳		4,021	13	276	622	119	8	39			1	10		211		2					
8歳		3,658	11	166	511	63	7	27				11		148		4					
9歳		3,188	8	121	420	31	5	25				4	1	84		3					
5歳～9歳																			33		
10歳～14歳		5,823	12	153	998	70	5	23	1		1	11		133		9			10		
15歳～19歳		992		12	350	9		1				1		8		5			1		
20歳～			14	112	3,086	24	17	7		5		2		57			1				
20歳～29歳		4,268														56		1	2		
30歳～39歳		6,132													1	112			4		
40歳～49歳		2,630														40		1	1		
50歳～59歳		1,854													2	31		1	2		
60歳～69歳		1,147														30			3		
70歳～																24					
70歳～79歳		676																	3		
80歳以上		434																	1		